

開排例

[Empty lined area for text]

乙第式第

長官

丁亥年... 甲子年...

書記官

出指介法

官負除販運方之新七百一

七重在勸開拓少書記官下滿地室基及杜候在勸准陸
軍中尉柄内元吉新南田之... 室基本月三日実父柄内元吉之方叔母病死身... 亡

2

忌引中、靈所用御舎之、其台本・陰服出
仕方違、其以彼上申也

明治十五年一月廿日

開拓少書記官湯地定基

太政大臣三條實久殿

御届

實父定之事是迄病氣之處養生
不相叶昨夜六時七分終、死去
候間此段御届申上候也

明治十五年一月廿日

開拓少書記官湯地定基



一月四日ヨリ
忌日 二月九日迄

昭三 二月廿四日
吉 二月廿五日迄

新開地外... 不時... 實父...

傳

正心庵内廟

元正... 叔母
多祿

山石... 所... 心...

明治十五年一月... 海陸軍中尉 杉内元吉



開拓長官黒田清隆殿

（Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the characters "開拓長官" and "黒田清隆"）

遊九十日

可高小可高小可高小

十五年一月十七日出

八年月日

長官

津田四郎屬調

書記官

少張所法

乙卯三号

官員着京ノ義市面

函館在勤開拓大書記官時任多基義市用有
之十^{考止}賺十四日着京候糸以^取及市届修也

明治十五年一月七日

開拓長官山郷從道

付

③